

## 開 会 挨拶

国土交通省中部地方整備局長  
金井 道夫



中部地方整備局長の金井でございます。

今日は著名な三人の先生方より、「災害に強い国づくり」ということをテーマにご議論をいただくということで、大変楽しみにしておるわけでございますが、たまたま一昨日から、大変な災害が管内で起こっております。これからも政府調査団が入りますので、私ども整備局の方、少し手薄になったり、途中で失礼させていただくこともあるかと思いますが、お許しをいただければと思っております。

今回の災害を見ましてもやはり、災害に対する対策というのは、国づくりの一環でありますので、中期、長期的なビジョンをしっかりと出して、きちんとやるべきことをやるべきだろうというふうに考えておりますので、先生方にも是非いろいろご支援をいただければと思います。

一点、整備局の立場で特に災害に関連して、ちょっと感じている点だけを最初に申し上げさせていただければと思っております。

最近、ご承知のとおり予算のシーリングであるとか、特に地方自治体の破綻まではいかないまでも、財政危機によりまして、安全・安心にも非常に影響が出てきております。

予算的にもやはり当面はすこし我慢しろといいやすい項目でありますし、たとえば、橋梁の耐震補強みたいなものも、もうちょっと待っていいのではないかとわれます。やはり、自治体さんから言いますとプライマリーバランスを確保する方が先ではないかという議論がありまして、いつまでに、どういう対策がきちんと出来るのかということが見えにくい状況になっております。ただ、先ほども申し上げましたとおり、安全・安心というのは一刻を争

うものでございますし、いつまでにどういう絵姿が出来るのかということが見えないとなかなか安心して生活できないということもあると思っております。私も職員によく話をしているところでございますが、金がないからといって、中長期的なビジョンを出さないと、ますます分かりにくくなるし、公共事業の誤解の元になるのではないかとこのように考えております。

一方で財政事情も非常に重要な問題でございますが、もう一つの柱として、中期的、長期的にどこまで何をやるのかというビジョンをしっかりとすべきだという議論をしていただいて、その間でどこが着地点なのか、きちっと探るような議論をすべきではないかというふうにずっと考えているところでございます。いろいろご批判があることも確かではありますが、ぜひ、そういう見えやすい行政を柱に今後も施策を展開していければなと思っております。

今日はまた、三人の先生方からさらに高所からのご議論をいただいて、今後の行政、みなさま方の仕事の上での参考にさせていただければと思っておりますので、是非先生方にもよろしくお願いを申し上げたいと思います。

以上、簡単でございますが、挨拶にかえさせていただきます。ご来場いただきましてありがとうございました。御礼を申し上げます。